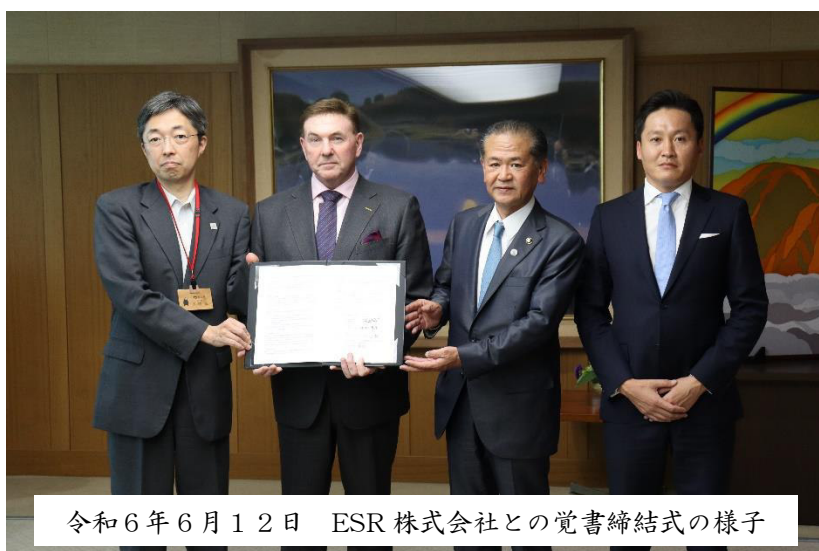


# 要 望 書

南九州地域の拠点港湾「八代港」の  
整備促進について  
～地域経済の活性化のために～



令和6年6月12日 ESR株式会社との覚書締結の様子



令和6年8月2日 「みなのおしごと見学会」の様子

令和6年11月  
熊本県八代市  
八代港整備・活用促進期成会



八代港の整備につきましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

港湾は、我が国の経済や国民生活を支える極めて重要な社会基盤であり、豊かで活力ある地域経済の発展には地方港湾の成長が欠かせません。

現在の八代港は、韓国と台湾への国際コンテナ定期航路を有し、アジアをはじめとした世界各国へ接続する南九州の貿易拠点として着実な発展を遂げています。

八代港は半導体の製造に不可欠な高圧ガスや化学品など危険物の取り扱いが南九州で唯一可能な港であることから、今年末に稼働予定のJASM熊本工場で使用される半導体原料の輸入が本格化しています。今後も半導体原料の輸入港として重要な役割を担うことが期待されることに加え、近年の原木取扱量は毎年過去最高を記録するなど、全国有数の木材輸出拠点としても成長を続けているところです。

また、本市では今年6月に覚書を締結した世界トップクラスの不動産アセットマネジメント会社であるESR株式会社との連携による物流拠点構想の推進や、県と一体となって進めている県営工業団地の整備に加え、新八代駅周辺の開発にも取り組んでおり、こうした様々な取組の相乗効果で八代港の価値を高め、県内全体の経済浮揚につなげていきたいと考えています。

こうした中で、海上物流の要となる八代港は、未だ大型船舶入港時の喫水調整を要するなど余分な輸送コストが発生していることから、八代港の利便性を向上させ、今後更なる利用拡大に繋げるためにも、水深14m航路の早期完成にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、八代港では令和3年度の港湾計画一部変更により、加賀島地区への水深12m岸壁が新規に位置づけられたところですが、木材輸出量の増加に伴い、原木ヤードの不足は長年にわたる課題となっています。将来見込まれる新たな貨物需要と企業立地需要への対応を図るためにも、早期事業化に向けてご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さらに、八代港の整備を進めるうえで基準となる港湾計画は平成17年度から改定がなされていないことから、八代港の将来的な成長を図るためにも、港湾機能向上を含む港湾計画の早期見直しに向けて、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

については、地域経済の成長、それに伴う雇用の創出、熊本県全体の発展に欠くことのできない八代港の整備促進につきまして、下記のとおりご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

#### 記

- 一、水深14m航路の早期完成を図ること。
- 一、加賀島地区への水深12m岸壁の早期事業化を図ること。
- 一、港湾計画の早期見直しに向けた技術的な支援を行うこと。

令和6年11月

八代市長 **中村博生**

八代港整備・活用促進期成会長 **松本喜一**